

広報 きんこう

Kin

Kin

KINKO TOWN
PUBLIC RELATIONS

あなたとまちをつなぐ広報紙

Kin



New year 2026

1 & 2
新春号
VOL.250

次の発行は
3月12日です
※2月の発行はありません



＼PICK UP／

新田町長が描く、次の四年。

錦江町二十歳の集い

挑戦が町を動かす——錦江町重点ローカルベンチャー支援事業

2期目の主な具体的な取組

1 働く世代の元気

「まちを引っ張る産業の振興」



- ◎データの活用型
(べぶドックや営農支援AI等)

- ◎国内外市場への農産物加工品販売実証

- ◎ワーキングホリデー(体験型就労)の実証実験
- ◎病児・病後児保育の導入
- ◎商店と買い物弱者を結ぶ宅配システムの構築

2 子どもの元気

「子どもの成長環境を整え、
社会で活躍できる人材育成」



- ◎放課後子ども見守り活動拠点整備
- ◎保育園留学、親子山村留学の拡充・連携
- ◎キャリア教育(先端技術含む)メニュー拡充

3 高齢者の元気

「安心して暮らせる助け合いと健康寿命の延伸」

- ◎ノウフク連携への参加事業者拡充
- ◎下駄ばきヘルパーの拡充
- ◎認知症フレンドリー事業の継続、強化

4 自然・環境の元気

「水資源、海を守るため、
森と里山の維持・再生」



- ◎森林ビジョンの策定
- ◎海の森づくりの実証実験

5 地域の元気

「自治会・公民館と一体になった安心安全な地域」

- ◎小学校跡地の魅力化プロジェクト
- ◎新肝属郡医師会立病院整備完工と開院支援

式会社と大隅森林組合の3社で「森林に関する包括連携協定」を締結。伐採跡地を日本森林アセットが購入し、錦江町が再造林促進のための費用を一部助成し、大隅森林組合が再造林していく仕組みづくりを行ったこと。

1期目の反省点としては、人口減少の緩和が難しかったこと。「転入と転出を同数に」という目標を掲げていましたが、移住者やUターン者を含めて、就学、就職による転出をカバーできず、直近で70人の減少となりました。ローカルベンチャースクールや畜産を中心とした産業基盤の強化、事

業継承の支援など、「稼ぐ力」をさらに強化しなければならないと痛感しています。

2期目の重点テーマとは

1期目の継続事業としては、子育て施策として、大根占小校区と神川小校区に子育て支援住宅の建設を働く親世代の支援として、病児・病後児保育施設の整備をしていきます。地域交通対策としては、1期目で整えたあいのりタクシーカバーで、就学、就職による転出をカバーできず、直近で70人の減少となりました。ローカルベンチャースクールや畜産を中心とした産業基盤の強化、事

また、担い手不足対策として、体験型就労のワーキングホリデーの実証実験に取り組み、外国人材を含め、新たな働き方と錦江町暮らしの体験メニューを整えてまいります。

同じく継続事業として、保育園留學と山村留学を充実させるとともにキャリア教育を拡充し、少子化の中でも、共に暮らす仲間づくりを進めます。

2期目に臨む覚悟、原動力

これまでの農林水産業の振興に加え、既存の産業分類によらない「新たな稼ぐ力」を支援することで、安定した経済を作り、他の自治体にも見えて、町民さんの暮らしが大きく変わることはないかもしれません。せんが、人に投資することを続け、町民さんが「小さな幸せ」を感じられる町を作つていただきたいと思います。

に見えて、町民さんの暮らしが大きく変わることはないかもしれません。せんが、人に投資することを続け、町民さんが「小さな幸せ」を感じられる町を作つていただきたいと思います。

「人に投資する」「それぞれの人が小さな幸せを感じていただける町をつくる」これが町長としての責務です。第3次総合振興計画は10年間の計画ですが、5年間である程度の形を創りたい。計画をしっかりと実現していきます。

私の原動力は「人の笑顔」です。すべての人の笑顔が、町を預かるものとしては力になっています。その笑顔を未来へつなぐため、対話を重ねながら、誰もが安心して暮らし続けられる錦江町を目指し、歩み続けます。

決断し、進める。新田町長が描く次の四年

それぞれの人が「小さな幸せ」を感じられる町をつくること、それが町長の責務。

interview 錦江町の未来のために、いま、伝えたい想いとは。

1期目の成果と課題

1期目で特に手応えを感じた施策は次の4点です。

- ①担い手不足解消のための特定地域づくり事業協同組合を令和5年5月21日に発足させ、現在11事業者、6人の社員の短期就労での派遣をしていること。
- ②関係人口増加のため、2週間を上限とした滞在期間での保育園留学を令和5年度から始めたが、反響が大きく、令和6年度は親子で118人の来町があつたこと。
- ③認知症になつても安心して暮らせるまちづくりのため、自己選択、自
- ④利用期(植林から50年以上)にきている森林の伐採が進む中、町内の再造林(令和6年)率は35%と低迷。

国土保全や水源涵養、二酸化炭素の吸収など、多面的機能を持つ森林の維持が困難になる中、令和7年10月に住友林業系の日本森林アセット株門)を受賞したこと。

④利用期(植林から50年以上)にきている森林の伐採が進む中、町内の再造林(令和6年)率は35%と低迷。

国土保全や水源涵養、二酸化炭素の吸収など、多面的機能を持つ森林の維持が困難になる中、令和7年10月に住友林業系の日本森林アセット株門)を受賞したこと。

PROFILE

新田 敏郎 (しんでん・としろう)

1965年生まれ。南大隅高校卒業後、旧大根占町役場へ入庁。総務課長や政策企画課長を務め、令和3年3月に退職。「情熱まっすぐ」をキャッチフレーズに掲げ「人への投資」と5つの元気を公約で訴え令和3年11月28日に行われた錦江町長選挙で初当選。二期目となる町長選挙では無投票で再選を果たす。錦江町馬場在住の60歳。

錦江町長

新田敏郎





令和7年度 錦江町 二十歳の集い

今年の二十歳の集いは平成17年度生まれが対象。
対象者80名のうち43名が参加し、大人への第一歩を踏み出しました。

式典では、小中学校時代を写真で振り返るスライドショーが上映され、当時のなつかしい写真の数々に会場からは笑いや歓声が上がりました。
二十歳を代表して、5名が家族への感謝のメッセージを朗読。式典の最後は、実行委員会委員長を務めた阿鷗演美羽さんが、「これからは、この故郷で育つたことを誇りに思い、大人としての自覚を持って行動していきます」と宣言し、感謝の気持ちを述べました。

式典後は、保護者や恩師、友人たと晴れ姿で記念撮影。祝福や激励を受けながら、未来への希望を胸に新たな一步を踏み出しました。



未来への希望を胸に
新たな一步を踏み出す

真新しいスーツ、華やかな振袖に身を包み、少し緊張した様子で訪れた二十歳の皆さん。1月3日に開催された錦江町二十歳の集いの受付会場は、友人や恩師と久しぶりの再会を喜び、談笑する姿が多く見られました。

2026.1.6㈯ 令和8年 錦江町消防出初式

1月6日(火)、田代保健福祉センターで消防出初式が行われ、町内各団の消防団員が参加しました。JA田代給油所から田代保健福祉センターまで、消防団員と消防車両による力強く規律あるパレードが行われ、華やかな新年の幕開けを告げました。また、田代幼年消防クラブの『誓いの言葉』や、勤務年数に応じた表彰など、厳かな式典が催されました。

日本消防協会30年勤続章	本部
神川分団	栗脇 勉
中央分団	野間 哲朗
大原分団	内園 政文
鹿児島県消防協会功績章	中村 文作
神川分団	葛蒲 隆
麓分団	槐島 健司
中央分団	土岩 泰行
鹿児島県知事10年勤続章	中央分団
川原分団	貫見 欣司
中央分団	小田 光太
池田分団	安峯 晴志
中央分団	六反田 武志

鹿児島県消防協会肝属支部	15年勤続章
池田分団	宿利原分団
中央分団	横山弘幸
神川分団	壹崎亘
中央分団	中央分団
神川分団	福岡真治
大原分団	森満晃
池田分団	福園貴生
中央分団	渡辺寛之
25年勤続妻・家族の表彰	25年勤続妻・家族の表彰
退団者表彰	(10年以上)
籠分団	大寺幸夫
中央分団	白井和代
宿利原分団	荒武早苗
池田分団	鳥越俊一
川原分団	大坪真一
宿利原分団	馬込一
川原分団	尾長谷修
神川分団	今隈稔
池田分団	森熊洋
神川分団	今勝久
川原分団	石田亮太朗
籠分団	走田悠介
池田分団	邊康成
神川分団	辻博昭
川原分団	川邊博昭



今まで育ててくれてありがとう。お父さんは厳しいことをたくさん言うけど、結局一番応援してくれている人です。めんどくさそうにしながらも、私の話を聞いていないようで、実はちゃんと聞いていて、後からぽつぽつと一言くれるところがお父さんらしいなと思っています。そのおかげで、私は自分の夢に向かって少しずつ成長できています。

お母さんはいつも一番近くにいる存在です。つらい時や苦しい時はもちろん、嬉しかったことも楽しかったことも私以上に一緒に喜んでくれる人です。お母さんでもあり、時々お姉ちゃんみたいでもあって、気づけば一番頼っている存在です。普段はなかなか言えないけど、こんな私をここまで育ててくれたこと、ちゃんと感謝しています。これからも変わらずに見守ってもらえたら嬉しいです。本当にありがとう。

神園 さくらさん (錦江中)



大人への第一歩を踏み出した43名を代表し、5名が家族への感謝の思いを伝えました。

大切な家族へ 感謝のメッセージ

まで20年間、僕を育ててくれてありがとう。今がここにいられるのは、パパとママが支えてくれかけです。

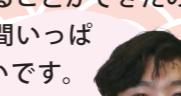
は優しくて、よく色々な人に頼られている僕の父親です。ママは料理が世界一おいしくて、笑がキュートな自慢の母親です。これまで、よく叱りました。でもそれは僕のためであって、僕のことって言ってくれているんだと二十歳にた今、そう思います。これから僕に辛いことがばかりではなくて、苦しと、辛いこと、いろんなことが待ち受けると思います。でも、自慢のパパから生まれ、育ててもらった僕どんな困難にも立ち向かっると信じています。

ママ、いつもありがとう。
川原 瑞尉さん(錦江中)



重久 あゆみさん（田代中）

今日無事に二十歳の集いを迎えることができたのは両親のおかげです。今まで20年間いっぱい迷惑をかけてしまい申し訳ないです。こんな息子ですが、今まで育ててくれてありがとうございます。これからは立派な理学療法士になり、恩返しできるよう頑張ります。今までありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いします。



徳永 莉玖さん(田代由)



年間僕のことを育ててくれてありがとうございます。自分は昔から、時間があればゲーム、昼は走りて夜中も隙あらばゲーム、コントローラーを隠さも見つけ出してゲームという、ふざけた子供でしそれでも、自分がeスポーツをしたいと言ったら、を認めてくれて、支えてくれました。そのおかげ2024年12月に50万人の参加者の中から勝ち抜日本代表となり、世界大会に行くことがました。でも、世界一という夢は叶えず、世界ベスト8という結果に止まつまいました。大学生になってからは、を崩したと言ったら福岡まで来てくれこんなに自分のことを想ってくれ親は他にはいないと思います。世界一になる姿を見せるので、からもよろしくお願ひします。

重田 幸輝さん(錦江中)



——「ローカルベンチャースクール」の特徴は？

最大の特徴は、「なぜ起業するのか」という問いに真剣に向き合うことです。

多くの事業立ち上げ経験をもつ経営者や、起業家支援、金融の専門家がメンターとして伴走し、対話を通じて事業のブラッシュアップを行います。

起業は人生の大きな決断だからこそ、表面的なアイデア整理にとどまらず、参加者自身が「本当にやりたいこと」を見つめ直し、自分の中にある答えを引き出すことを大切にしています。

——町外の人しか参加できないの？

いいえ。これまで町内の方も参加してきました。

ローカルベンチャースクールは、町外から錦江町へ移住し、起業を目指す方に注目されていましたが、町内で新しい事業や活動に挑戦したい方にも参加いただいているです。

なお、町内参加者の場合、地域おこし協力隊制度の活用はできませんが、事業づくりに役立つ各種セミナーや学びの機会を通じた支援を行ってきました。

町民の皆さんの身近な気づきや想いも、ローカルベンチャーの大切な出発点です。

——本町ならではのサポート体制は？

行政・事業者・町民が一体となり、挑戦を「一人にしない」伴走型の支援を行っています。

役場職員とともに株式会社エーゼログループが、事業の構想段階から実践までを継続して支援します。現場をよく知る人との対話やフィールドワークを重ねながら、錦江町ならではの資源や課題に対応する事業づくりを進められます。

株式会社エーゼログループは、岡山県西粟倉村や北海道厚真町でも起業支援プログラムを実施してきた実績があり、令和5年より町内に支社を構えています。

——応援することで、どんなつながりが生まれるの？

応援することは、特別な役割を担うことではありません。

人を紹介する、場所を教える、話を聞く——

そんな日常の関わりを通じて、人と人との新しいつながりが生まれていきます。

地域おこし協力隊や挑戦する人にとって、町民の皆さんとのつながりは、事業を進めるうえで欠かせない支えです。一方で、関わる側にとっても、新しい視点に触れたり、町の魅力を再発見したりするきっかけになります。



「錦江町重点ローカルベンチャー支援事業」

地域の課題をチャンスに変え、新しい仕事や活動を生み出す人材を育てる「ローカルベンチャースクール」。錦江町では、挑戦する一人ひとりの想いが、町の未来を動かす力になると考えています。学びと実践を通じて、地域から新たな挑戦が生まれ始めています。

本事業では、町内事業者の新規事業や規模拡大に向けた設計・実行支援をはじめ、企業や研究機関、起業家など町内外の多様な関係者とともに、ビジネスモデルや社会課題の解決策を考える共創型社会への転換を目指した研修を実施しています。

また、町内外に向けた情報発信やイベントの開催を通じて、錦江町と関わりながら挑戦する「共創人口」の獲得にも取り組んでいます。さらに、町内の中高生を対象とした起業家育成プログラムを実施し、次世代の挑戦を後押ししてきました。

こうした取組の一環として、町外から錦江町を舞台に起業や事業づくりに挑戦したい人を支援する「ローカルベンチャースクール」を実施しています。

本特集では、このローカルベンチャー

スクールに焦点を当て、その内容やねらい、そこから生まれつつある挑戦の姿を紹介します。ローカルベンチャースクールは、特別な人だけの取組ではありません。地域の資源や日々の暮らしの中にある「気づき」や「困りごと」こそが、新たな挑戦の出発点になります。

応援する、関わる、話を聞いてみる——そんな小さな一歩が、町の未来を動かす力になります。挑戦が生まれ続ける錦江町を、みんなでつくっていきましょう。

人口減少や産業の担い手不足など、全国の多くの地域と同様に、錦江町もさまざまな課題に直面しています。一方で、豊かな自然や一次産業、地域に根差した人のつながりなど、将来につながる資源も数多くあります。

町では、こうした地域資源と課題を起點に、地域内外の人材が主体となつて持続可能な事業を創出し、挑戦が生まれ続ける地域経済と人材循環の仕組みを構築することを目的に、令和5年度から「重点ベンチャースクール」に取り組んできました。

採択後

最終選考会

4月、移住・地域おこし協力隊として着任

担当となる役場職員が、毎月の面談や、地域との連携支援を実施。ローカルベンチャースクールのメンターによる研修・メンタリングを通じて、事業の成長を後押しします。

2月中旬
メンターから
のフィード
バックを踏ま
え、最終選考会までの1ヶ月間、事業プランをブラッシュアップ。プランシミュレーションを行った事業プランを元に最終プレゼンテーションを実施。審査の上、当日中に採択者を決定。



令和6年度のローカルベンチャースクール最終選考会で採択された山田有夏さん（写真右）と杉山知枝さん（写真左）は、錦江町へ移住し、今年度から「錦江町地域おこし協力隊」として着任しています。着任後、国からの特別交付税を財源とした報償費や活動費などの支援を受けながら、事業づくりに取り組みます。生活や活動の基盤を支えられた環境の中で、地域と関わりながら試行錯誤を重ね、実現したい事業の立案や具体化に向けて一歩ずつ挑戦を進めています。現在のお二人の活動の様子を紹介します。

interview ローカルベンチャースクールから、錦江町地域おこし協力隊へ。二人の「現在」は。

——どんな活動をしていますか？

私は、錦江町の農家さんでの農業体験を中心としたツアーを企画し、それを必要な団体やグループへ提供するということを事業化すべく、只今準備中です。今年度はモデルツアーを2回実施しました。

——モデルツアーはどんなことをされたのですか？

1回目は、関西の小中学生5名が参加し、サツマイモの収穫体験をしました。2回目は、外国人と県内外の日本人7名に向け、ゴボウや大根の収穫体験や照葉樹の森でのトレッキングなどを行いました。どちらのツアーも参加者からの評判が良く、全員が「もう1回、錦江町に来たい」と話していました。ゴボウの収穫は泥だらけになりながらも、みんな夢中でしたよ。

——今後の活動は？

今回はモデルツアーだったため、私の知り合いを通じて参加者を集めました。今後は、こういったツアーを必要としている団体やグループを対象に、ツアーパッケージを提供していきたいと考えています。県外の学生やインバウンドにも販売していきたいです。



杉山 知枝さん

——どんな活動をしていますか？

私は「町で暮らす人々の生きた証を映像で残す」ことを理念とし、町内の様々なところへ出向き、動画撮影を行っています。撮影した動画を編集してSNSへ投稿したり、『ふるさとCM大賞』へ応募したりしました。『ふるさとCM大賞』は、企画から撮影、編集までを1人でこなすのは大変でしたが、出演してくれたお二方の演技が素晴らしく、見事『演技賞』をいただきました。

——錦江町での生活はどうですか？

錦江町の方は「なんでこの町に来たの？なんもないのに」とよくおっしゃいますが、自然や人の温かさ、人とのつながりなど、素晴らしいものがたくさん

ある町だと思います。会えば声をかけてくださる方や、様々なイベントに誘ってくださる方など、そういう距離感が私は好きです。

——今後の活動は？

『終活スナック』を開くことが目標。自分のお葬式や死について気軽に語ったり考えたりする場を作りたいと思います。お葬式で流す生前のメッセージなどの撮影も行っていけたらいいなと考えています。



山田 有夏さん

採択後、地域おこし協力隊として着任

Close-up

1次選考合宿

1月上旬
自分の内側にある動機を見つめ直し、「なぜこの挑戦を選ぶのか」「どんな未来を描くのか」を言語化するオンライン研修を実施。基本的な事業計画の考え方や共感を呼ぶプレゼンテーションを組み立てるヒントを学び、一次選考合宿での発表に弾みをつける準備を整えます。

1月上旬
自分の内側にある動機を見つめ直し、「なぜこの挑戦を選ぶのか」「どんな未来を描くのか」を言語化するオンライン研修を実施。基本的な事業計画の考え方や共感を呼ぶプレゼンテーションを組み立てるヒントを学び、一次選考合宿での発表に弾みをつける準備を整えます。

審査用「事業プラン」をもとに書類選考を行います。



Close-up

1月上旬
自分の内側にある動機を見つめ直し、「なぜこの挑戦を選ぶのか」「どんな未来を描くのか」を言語化するオンライン研修を実施。基本的な事業計画の考え方や共感を呼ぶプレゼンテーションを組み立てるヒントを学び、一次選考合宿での発表に弾みをつける準備を整えます。



活性化センター神川にて、2泊3日で行われる1次選考合宿。過去2回に計15名が参加しています。（令和5年度7名、令和6年度8名）

審査対象外とはなりますが、もちろん、町内の事業者さんも参加可能。

参加者たちは、「メンター」と呼ばれる役場職員や経営者、金融機関の方々と対話を重ね、自分のやりたいことを突き詰めていきます。やりたいことを見つめ直し、自分の中にある答えを引き出すきっかけを得ることができます。

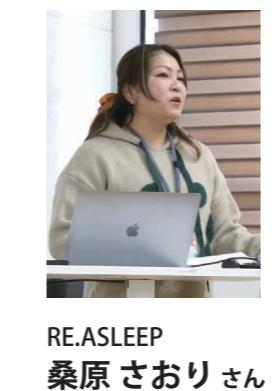
1次選考合宿

活性化センター神川にて、2泊3日で行われる1次選考合宿。過去2回に計15名が参加しています。（令和5年度7名、令和6年度8名）

私は骨盤矯正やリンパマッサージのサロンを経営しています。1年間、自分で開業の準備をしていましたが、「これでいいのかな」と不安に思っていました。そんな時、ローカルベンチャースクールのこと

を知り、参加を決意しました。また、前向きな他の参加者との出会いも刺激になりました。町内で自営業をされている方は、ぜひ、参加を検討してみてください。様々な気づきや情報を吸収できますよ。

今後は、お客様が非日常的な時間を過ごせるような空間作りを意識し、お母さんたちが育児から少し離れることができるような場所、障がいを持つ子どもやその家族が集えるような場所を作つていただきたいと思います。今後は、お客様が非日常的な時間を過ごせるような空間作りを意識し、お母さんたちが育児から少し離れることができるような場所、障がいを持つ子どもやその家族が集えるような場所を作つていただきたいと思います。



NPO 法人たがやす
山田 みなみさん



RE.ASLEEP
桑原 さおりさん

私は、ゲストハウスの運営を中心、認知症カフェや図書館、スマホ教室、協力隊のサポート、フリースクール等の事業を行っています。ローカルベンチャースクールへの参加のきっかけは、自分のやりたいことの軸が何なのか、これからのことをしてしっかり考えたいと思ったからです。実際に参加してみて、何のため事業をしているのか芯を持つことができました。それぞれがお互いを本気で応援し合える温かい場でしたので、この経験が私のお守りのようになっています。

お問い合わせ

錦江町役場産業振興課
☎ 0994-22-3034

食生活改善推進員養成講座

食生活改善推進員養成講座の閉講式が行われ、受講した6名へ修了証が授与されました。現在、本町には3名の食生活改善推進員が在籍。料理教室の開催や、地域の方々への食のアドバイス等のボランティア活動を行っています。来年度から新たに5名のメンバーを加え、活動予定です。



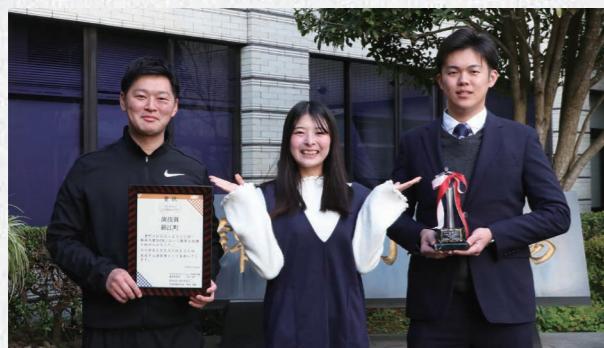
養成講座は1回3時間、計7回実施。受講者たちは、栄養や食育、健康づくりなどについて知識を深めました。



本コンクールは、統計知識の普及と表現技術の向上を目的として、鹿児島県と県統計協会が毎年実施しています。

令和7年度鹿児島県統計グラフコンクール・小中学生パソコン統計グラフの部において、田代中学校2年の水流和さんが特選に輝きました。

水流さんは、「田代人口と就業者の移り変わり～頑張る田代の働き手たち～」をテーマに、産業構造の変化や就業環境の課題などのデータを分析し、その取組が高く評価されました。

水流和さん 統計グラフコンクールで特選
(田代中2年)「演技賞」受賞
KKBふるさとCM・動画大賞

CMには、町内在住の脇田直希さん(写真左)と留斗さん(写真右)が出演しました。

外国人による日本語弁論大会へ出場
国際交流員AINさん

提供元：一般財団法人国際教育振興会

世界の人々が日本語で意見を発表する「外国人による日本語弁論大会」に、錦江町国際交流員のAINさんが出場しました。予選を通過し、12月6日に東京都昭島市で開催された本選に出場。大賞受賞は逃したものの、錦江町での暮らしや町民との触れ合いについて堂々とスピーチし、会場は大きな拍手に包まれました。

大根占吾平線は、総延長 15,137 m (錦江町側 8,525 m) で、平成 24 年度まで 17 年をかけて整備。その後も継続的に法面保護整備等をしています。



鹿児島県内では 10 年ぶりの快挙となりました。

林道維持管理コンクールは、林道の適切な維持管理と路体保全、運行の安全確保、そして技術向上を目的に、優秀な管理状況の林道を評価・表彰する制度。日本林道協会が主催し、農林水産大臣賞には錦江町の他、徳島県神山町、高知県梼原町が受賞されました。

第48回林道維持管理コンクールで、錦江町が農林水産大臣賞を受賞しました。池田半下石から鹿屋吾平までを結ぶ森林基幹道「大根占吾平線」の継続的な整備を評価され、鹿児島県内では 10 年ぶりの快挙となりました。

発行：錦江町
令和8年1月

広報きんこう新聞社
錦江町役場 政策企画課内
☎ 0994-22-3032
[平日 8:30 ~ 17:15]

錦江町が各種コンクールで栄冠

「地域共生社会推進賞」大賞を受賞

▲地域共生社会推進賞は、分野横断的な連携や住民主体の工夫、継続性・波及性などが重視され、優良事例は今後の全国の地域づくりや施策の参考とされます。

「認知症フレンドリーな錦江町づくりプロジェクト」が、第3回地域共生社会推進賞。市町村部門で大賞を受賞しました。12月12日に福岡県で開催された九州・沖縄地域共生社会推進フォーラム内で、表彰式及び取組発表が行われ、本町から有村副町長等が出席しました。

地域共生社会推進賞は、厚生労働省九州厚生局が主催し、年齢や障害、国籍などを問わず、誰もが地域で支え合って暮らせる社会づくりに貢献する先進的な取組を表彰し、その普及を目的とするものです。認知症の方がいきいきと幸せに暮らせる社会の実現や、それを支える地域づくりに向けた本町の取組が高く評価され、受賞に至りました。

13

KINKO TOWN PUBLIC RELATIONS 2026.NewYear

広報 Kinko 12

政策企画課 ☎ 22-3032

合併前の広報紙を見たい方へ/
過去の広報紙を掲載しています

合併前のそれぞれの町（旧大根占町・旧田代町）の広報紙をデータ化し、町ホームページに掲載しました。ご興味のある方は、ぜひご覧ください。



※過去に発行した広報紙のうち、現時 QRコード点で保存・データ化が可能な号のみを掲載しています。ご了承ください。

●問い合わせ先 政策企画課 ☎ 22-3032

君に出逢う春 大隅で縁結び
婚活イベントに参加しませんか？

大隅5町婚活連絡協議会が主催する婚活イベントに参加してみませんか？

開催日程

日 時 ▶ 3月15日(日) 12時30分～16時
場 所 ▶ 笠之原ボウリングセンター
参加費 ▶ 2,000円

※参加条件

男性▶大隅5町（錦江・南大隅・肝付・大崎・東串良）在住で20・30・40代の独身の方
女性▶独身の方

申込方法

申込期限 ▶ 3月4日(日) 17時
申込方法 ▶ 右の二次元コードからお申込みください。

●問い合わせ先 政策企画課 ☎ 22-3032

政策企画課 ☎ 22-3032

精神科の医師が相談に応じます
こころの健康相談日の案内です

こころの健康について心配のあるご本人・ご家族に精神科の医師（桜ヶ丘病院：樋林院長）が相談に応じます。

こころの健康相談日

日 時 ▶ 3月11日(日) 14時～16時
場 所 ▶ 大隅地域振興局本館2階
地域保健福祉課 相談室
相談内容 ▶ 気分の落ち込み・不眠・人間関係
引きこもり・認知症・依存症など
相 談 料 ▶ 無料
申込締切 ▶ 3月4日(水)
申込方法 ▶ 鹿屋保健所（☎ 0994-52-2124）
にお電話にてお申込みください。

※本人だけでなく、家族の同席や家族だけでの相談も可能です。お気軽にご相談ください。

●問い合わせ先 鹿屋保健所 ☎ 0994-52-2124

政策企画課 ☎ 22-3032



参加料2,000円
※参加条件あり
お申し込みはQRコードから

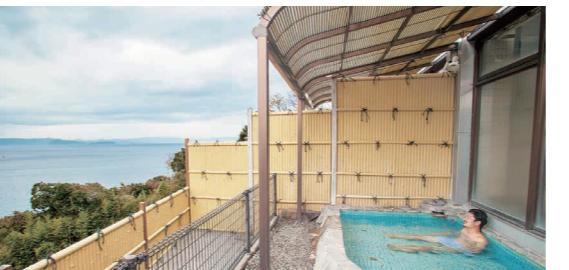
【お問い合わせ】大隅5町婚活連絡協議会 Tel:0994-67-2111（事務局）

政策企画課 ☎ 22-3032

令和8年3月31日から
トロピカルガーデンかみかわ休業

皆様にご愛用いただいているトロピカルガーデンかみかわですが、設備の老朽化等により、**令和8年3月31日をもって、当分の間、休業することとなりました。**

なお、再開は未定ですが、施設の活用について十分検討したうえで今後の方向性を決定し、改めてお知らせします。



●問い合わせ先 観光交流課 ☎ 28-2488

農業委員会 ☎ 22-3035

農業者の皆さまへ大切なお知らせです
安心の農業者年金がおすすめ

将来の安心が大きくなる「農業者年金」の加入で、老後の準備を始めませんか？農業者の方なら広く加入できますので、希望される方は農業委員会か農協大根占支所、農協田代支所までお問合せください。

①国民年金の被保険者で年間60日以上農業に従事されている方は誰でも加入できます
(保険料納付免除者は除く)

②積立方式で少子高齢化の時代に対応

③保険料の額は、月額2万円（35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円）から6万7千円まで自由に決められます



④終身年金で80歳までの保証付き

⑤公的年金ならではの税制上の優遇措置があるので節税効果も

⑥農業の担い手には、一定の要件を備えれば政策支援が受けられます

農業者年金のお問合せは、農業委員会か農協まで
農協大根占 ☎ 22-2531・農協田代 ☎ 25-2521

介護福祉課 ☎ 22-3042

スマートフォンの使い方をマスターしたい方へ
錦江町高齢者スマートフォン教室を開催

スマートフォンを購入したが、使い方が分からぬ方、持っているのに使いこなせていない方、そろそろスマートフォンにしようかなと思われている方に基本的な操作内容や便利なアプリの使い方を教えます。

スマートフォン 教室 開催日程

期 日 ▶ 1月27日(日)・2月20日(金)

時 間 ▶ 13時30分～15時

場 所 ▶ 1/27 総合交流センター 2階会議室
2/20 田代支所 3階会議室

内 容 ▶ 「インターネットの使い方
と基本操作」

参加費 ▶ 無料



●申込み・問い合わせ先
ドコモショップ鹿屋店 ☎ 0120-427-000
ゲストハウスよろづ ☎ 27-4548

住民税課 ☎ 22-3037

軽自動車税は4月1日で課税されます
廃車や変更は3月末まで！

軽自動車税は4月1日現在の所有者（使用者）に課税されます。廃車や変更は3月末までにお願いします。車両の種類で手続きの場所が異なります。

車両の種類

手続きの場所

・原付自転車 (125cc以下)	住民税課 / 支所住民生活課
・小型特殊	廃車▶所有者の印鑑 ナンバープレート
・ミニカー	名義変更▶新・旧所有者の印鑑 車名（車体番号）が分かるもの
・軽自動車四輪	鹿児島県軽自動車協会 (鹿児島市谷山港 2-4-42)
・軽自動車二輪 (125～250cc)	099-261-4011
・小型二輪 (250cc超)	※自動車整備工場やバイクショップ等にお問い合わせください。



トラクタやコンバインなどの農耕用特殊自動車も、公道走行の有無に関係なく登録（ナンバープレート交付）が必要です。

●問い合わせ先 住民税課 ☎ 22-3037

令和8年度から新たにスタート！

地域の「健康マイスター」の受講生を募集します！

3日間の集中講座で、「食」「歯」「睡眠」などの知識を深め、地域に住む方々への健康アドバイスや相談など、ちょっとしたお節介にご協力いただく「健康マイスター」講座に応募しませんか？
「自分の健康維持のためにも勉強したい」「地域のために何か役に立ちたい」という方々のご応募をお待ちしています！

対象者 ①～③をすべて満たす方

- ① 65歳～75歳の錦江町在住の方
- ② 車の運転ができる方
- ③ 介護申請をしていない方

※1回あたりの受講者数：5～10名程度

講座メニュー（例）

※受講料等は無料です。

DAY 1

- 10:00 集合
- 10:15 オリエンテーション
- 10:15 歯科指導
- 11:15 調理実習
- 11:15 おすすめメニューのレシピ配布もあります!!
- 12:30 昼食
- 13:30 栄養指導・振り返り
- 15:00 解散

DAY 2

- 10:00 集合
- 10:15 睡眠学習
- 11:30 昼食
- 13:00 体力測定・運動指導
- 14:40 認知症フレンドリーパートナー養成講座
- 15:30 解散

DAY 3

- 10:00 集合
- 10:15 グループディスカッション
- 11:30 調理実習
- 12:30 昼食
- 13:30 修了証の交付式
- 14:00 健康相談・解散



応募方法

右の二次元コード、もしくはお電話にてお申込みください。



応募締切▶ 3月31日

●問い合わせ先 介護福祉課 介護チーム ☎ 22-3030



政府の「物価高対応子育て応援手当」児童1人につき2万円支給

令和7年11月21日に閣議決定された、国の「強い経済」を実現する総合経済対策において、0歳から高校生年代までこども1人当たり2万円の「物価高対応子育て応援手当」を支給することが決定されました。

錦江町では、令和8年1月下旬から順次支給を開始します。



錦江町から令和7年9月分の児童手当を受給している方

申請は原則不要です。

※支給を希望しない場合のみ、ご連絡ください。

●詳しくは町ホームページをご覧ください▶

申請が必要な方

①～③いずれかにあてはまる方は申請書を提出してください／

- ① 公務員（所属庁から児童手当を受給している方）

- ② 令和8年1月6日から令和8年3月31日までに出生した児童の保護者

- ③ 10月1日以降に離婚（離婚調停中等も含む）により児童手当の申請が必要となった方

※公務員の方は、まず所属庁に手続きについてご確認ください。



「物価高対応子育て応援手当」まるわかり Q & A

Q うちの子は対象になるの？

- A 以下の児童が対象になります。

- ① 令和7年9月分の児童手当の支給対象児童

（令和7年9月に出生した児童については10月分）

- ② 令和7年10月1日～令和8年3月31日に出生した児童

Q いくらもらえるの？

- A 対象児童1人 2万円（1回限り）です。

Q いつもらえるの？

- A 錦江町では 1月下旬から順次支給を開始します。

以降、入金の確認ができなかった場合は介護福祉課までお問い合わせください。

※申請が必要な方については、支給時期が異なります。

●問い合わせ先 介護福祉課 福祉チーム ☎ 22-3042



ご自宅や職場などに錦江町から問い合わせを行うことがあります、ATMの操作をお願いすることや、支給のための手数料などの振り込みを求めることは絶対にありません。

もし、不審な電話がかかってきた場合には、すぐに錦江町の窓口または警察署にご連絡ください。

いつもの薬をくり返しもらえる「リフィル処方箋」、軽い不調は自分でケアする「セルフメディケーション」、安全性はそのままに医療費を抑えられる「バイオシミラー」。私たちの暮らしに身近な医療の新しい選択肢を、わかりやすく紹介します。

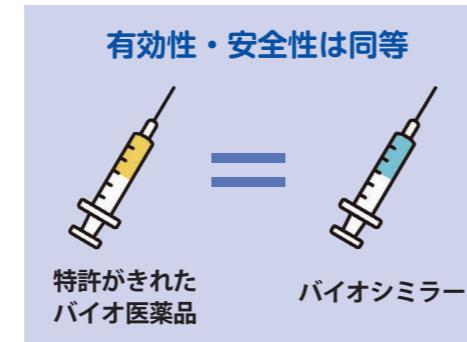
＼知ってトクする／

これからの医療のカタチ ~医療をかしこく利用する3つのポイント~

Point 3 安心・効果は同等、医療費を抑えるお薬「バイオシミラー」

バイオシミラーとは？

バイオシミラーは、バイオ医薬品の特許が切れた後に、他の製薬会社から発売される薬で、特許が切れた薬と同じように使うことができます。
※バイオシミラーは、先行バイオ医薬品と同等、同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品です。



そもそも「バイオ医薬品」とは？

バイオ医薬品は、バイオテクノロジーを応用して生産されたたんぱく質を有効成分とする医薬品です。一般的なお薬の多くは、化学的に合成してつくられますが、バイオ医薬品は人や動物の細胞・微生物などの「生きものの力」を使ってつくられるお薬。製造方法が複雑で、品質管理が厳しく、開発に長い時間がかかることから、薬価が高くなりやすい傾向があります。

バイオシミラーを使うとこんないいことが！

- 今まで治療が難しかった病気への効果が期待されている。
- 効果や安全性はそのままで、お財布にやさしい。

※バイオシミラーは原則として、特許が切れたバイオ医薬品の70%の値段になります。

これらの中には、バイオ医薬品・バイオシミラーが使われることがあります／

- | | | | |
|------|---------|---------|------------|
| ●がん | ●関節リウマチ | ●低身長 | ●潰瘍性大腸炎 |
| ●糖尿病 | ●腎性貧血 | ●クローバン病 | ●加齢黄斑変性 など |



▼もっとバイオ医薬品やバイオシミラーを知りたい方へ

厚生労働省ホームページはこちらから→

バイオ医薬品・バイオシミラーについて気になる方は、こちらのホームページをご確認ください。



●問い合わせ先 健康保険課 ☎ 22-3041

Point 1 通院の負担を減らせるかも！？「リフィル処方箋」

リフィル処方箋とは？

症状が安定している患者に対して、医師が長期間の処方が可能と判断した場合に発行される1つの処方箋で最大3回まで繰り返し使用できる仕組みです。高血圧や糖尿病、アトピー性皮膚炎など長期にわたり同じ薬を服用されている方について、通院にかかる負担軽減のために、令和4年4月から導入されています。(ただし、新薬や向精神薬、湿布薬など一部の薬は処方することができません。)

リフィル処方箋でこんないいことが！

- 通院負担が減る
- 医療費の節約
- 通院による感染症リスクの減少
- 2回目以降の薬を受け取る日の自由度が上がる



注意点

- リフィル処方箋をもらっていても、体調変化がある場合は医師の診察を受けましょう。
- 服用状況により、リフィル処方箋による調剤が不適切と判断した場合、調剤を行えないことがあります。
- 処方箋を保管しておく必要があり、紛失した場合は自費での再発行か再受診となります。
- いつでも薬を受け取れるわけではありません。

Point 2 自分の健康、自分で守る「セルフメディケーション」

セルフメディケーションとは？

自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当を行うことです。

セルフメディケーションを行うには何をすればいいの？

- 適度な運動やバランスの取れた食事、十分な睡眠・休息を心掛け、体調管理（体温や体重、血圧等の測定、健康診断受診等）を継続するなど、日ごろから健康を意識することです。
⇒健康の維持、生活習慣病等の予防や改善・重症化予防、ひいては健康寿命の延伸を目指すことになり、結果的に、医療費の節約に繋がります。
- 軽度な身体の不調を手当するためには、市販薬の使用や症状の改善が思わしくない場合は医療機関等を受診するなど適宜判断をしましょう。



令和7・8年度 自衛官採用試験 案内

※他の公務員試験と併願されている方は担当広報官へご相談ください。

募集種目	受験資格	受付期間	試験期間	合格発表
第7回 自衛官候補生	18歳以上 33歳未満	1月26日～2月12日	・学科試験 2月16日(月)～20日(金)のうち指定する1日 ・口述、身体検査 2月21日(土)	最終:3月2日(月)
第1回 幹部候補生 (一般)	【大卒程度試験】 22歳以上26歳未満の者 (20歳以上22歳未満の者 は大卒(見込含)、 修士課程修了者等(見込含) は28歳未満の者)	①3月1日～4月3日 (一般・専門(陸))	①1次:4月11日(土)～12日(日) (4月12日は海・空飛行要員のみ) 2次:6月1日(月)～6月7日(日)のうち指定する1日 3次(海・空飛行要員のみ) (海)7月2日(木)～7月6日(月)のうち指定する1日 (空)7月18日(土)～8月7日(金)のうち指定する期間	①1次:5月21日(木) 2次:6月25日(木) 最終 (陸):7月30日(木) (海):8月6日(木) (空):9月3日(木)
	【院卒程度試験】 20歳以上28歳未満の者 修士課程修了者(見込含)	②3月1日～4月3日 (歯科・薬剤科)	②1次:4月11日(土) 2次:6月1日(月)～7日(日)	②1次:5月21日(木) 最終 (陸・空):7月30日(木) (海):8月6日(木)
1回目 一般曹候補生	18歳以上33歳未満の者	3月1日～5月7日	1次:5月16日(土)～24日(日)のうち1日 2次:6月13日(土)～28日(日)	1次:6月4日(木) 最終:7月24日(金)
予備自衛官補 (一般)	18歳以上52歳未満の者	1月22日～3月30日	4月1日(水)～4月19日(土)のうち1日	6月10日(水)
予備自衛官補 (技能)	18歳以上で国家免許 資格等を有する者 (資格により年齢上限 53歳未満～55歳未満)	1月22日～3月30日	4月1日(水)～4月19日(土)のうち1日	6月10日(水)

※自衛官候補生（任期制自衛官）については、常時、受験のご案内をしておりますので、上記の受付期間以外でもお気軽にお問い合わせください。

●問い合わせ先 自衛隊鹿児島地方協力本部 鹿屋地域事務所 ☎ 0994-42-4386

安心・笑顔を届ける～介護の現場から

身近にある介護事業所ですが、意外と知らない方も多いのでは?
錦江町で活躍する介護事業所の取組や想いをご紹介します!

vol. 3 特別養護老人ホーム 南松園

施設の紹介

社会福祉法人誠心会は、「温かくて明るく家庭的で生きがいのある園づくり」を理念とし4つの事業所を運営しています。特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）は、中重度の要介護の方を終のすみかとして受け入れる定員55名の施設となっております。

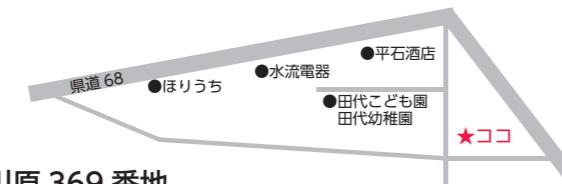
また、短期間滞在するショートステイ（短期入所生活介護）定員10名も併設しており、利用者様の心身機能の維持・回復・孤立感の解消、またご家族様の介護負担軽減を目的としています。

管理者の声

独居世帯や老老介護の増加、社会資源の減少など、地域高齢者を取り巻く環境は厳しくなっています。そのような中で介護を必要とする方に寄り添い、理念にもとづき必要な支援を提供していきます。利用して良かったと思って頂けるよう、親身になって相談できる、安心して過ごせる施設であり続けます。

お問合せ

社会福祉法人誠心会
特別養護老人ホーム南松園
☎ 0994-25-2174 錦江町田代川原 369 番地



令和7年12月1日付で25名に委嘱状交付 民生委員・児童委員 新体制

地域の「見守り役」「つなぎ役」を務める民生・児童委員 25 名をご紹介



地域の見守り役として、錦江町の社会福祉に多大な貢献をいただいた7名の民生委員が昨年11月末に任期満了で退任されました。その後任として、新たに民生委員を務める7名を含めた、総勢25名の民生委員に委嘱状が交付され、12月から新体制でスタート。子どもからお年寄りまで世代を問わず困りごと解決に向けて動き出しています。

民生委員制度は、地域の見守りや、困っている人たちを救う目的に創設された、100年以上続く社会福祉制度。任期は3年で、各担当地域を中心見守り活動や高齢者宅訪問、相談などを受けて関係機関との「つなぎ役」を務める25名を紹介します。

総勢25名が新体制でスタート
地域の見守り役を担う

No.	氏名	担当区域	No.	氏名	担当区域
1	山下 昌子	木原/寺前/山之口	14	小川 真美	笑喜/令和/才原/岩元
2	久本 晃	大橋上/大橋下/木場/中西	15	牧原 良子	宿利原/牧原/協和/命苦/厚ヶ瀬
3	船迫 小百合	麓/弓場下/鳥井戸	16	野元 美千代	主任児童委員(町内全域)
4	迫 重美	塩屋/城ヶ崎	17	牧原 信二	下/馬場/東ノ原/長谷/昇陽/払川住宅
5	馬場 みよ子	本町/京町/栄町	18	神田 真由美	東中郡/西中郡/橋ノ口/中村/麓住宅(一部)
6	森 千美代	神之浜一区/神之浜二区/旭町	19	榎本 雄二	岩崎/表木/山下/折小野/上山ノ口/城ヶ迫住宅
7	迫 則子	瀬戸山/六反田/中園/宮脇/上之宇都	20	川前 あや子	大原/中尾/大原住宅/新田
8	今熊 千和子	鳥浜/神川城	21	野本 久子	鶴戸野/久木野/盤山/富田/内ノ牧/重岳
9	上鶴 真清	神川上/神川中/神川新町	22	貫見 サユミ	平石/柴立/上柴立/上原
10	平原 真知子	皆倉/神川中原/桜原	23	鳥渕 ますみ	池野/原沢/鳥淵/瀬戸口/猪鹿倉
11	三宅 京子	壱崎/馬場中原/笹原/松坂/毛下	24	早瀬 弘子	鶴園/早瀬/郷ノ原/辺志切
12	半下石 良子	半下石/川南	25	姫ヶ迫 明子	主任児童委員(町内全域)
13	中村 敏子	川北/白井/安水/段中野/大久保	※新たに民生委員を務める7名は番号を赤で表示しています		



世代をつなぐ忘年会を開催 昔遊びやそばがきづくりで交流

12月17日、錦江町認知症カフェ「ゆうゆうカフェ」のメンバーさん11名と、児童育成支援拠点事業等を利用している子供たち5名の“交流忘年会”が開催されました。この日は、そばがきづくり、けん玉、コマ回し、お手玉のチームに分かれ、今と昔のコマで勝負したり遊び方を教え合ったりと温かな忘年会となりました。



手際の良いそばがきづくりを披露した田之脇フヂヱさんは「母がいつも家で作っていたそばがきを、皆で作れて楽しかった」と話しました。

2度の延期をこえて実現 冬の田代で「あったかフェスタ」

12月26日、田代中央運動場で「あったかフェスタ」が開催されました。夏に開催を予定していたサマーフェスティバルは、天候不良のため2度の延期を余儀なくされましたが、冬の開催となった今回、夏に打ち上げられなかった花火とレーザーが寒空を鮮やかに彩りました。また、ステージではエラブチ剛さんによる歌謡ショーが披露され、来場者を大いに楽しませました。



極寒の中、来場者には無料で豚汁が振る舞われました。温かい豚汁で冷えた身体が温まり、来場者はほっとした表情を見せしていました。

清藤新一郎社長は「今後も農家さんと連携を図りながら、錦江町のみならず、大隅の活性化を目指していきたい」と語りました。



光陽オリエントジャパンと立地協定締結 旧宿利原小体育館に工場新設

12月23日、光陽オリエントジャパン株式会社と錦江町が鹿児島県立会いの下、立地協定を締結し、調印式が行われました。茶葉の粉末加工などを手掛けている光陽オリエントジャパン株式会社は、旧宿利原小学校体育館に工場を移転・増設し、特産品のお茶を世界に売り出すための拠点づくりを目指します。今年4月の操業を予定しているそうです。

田代中1年の上吹越結愛さんは「日本は災害が多い国なので、このブルドーザーが様々な場所で活躍すると思う」と語りました。



未来のために今私たちができること 大阪・関西万博出展企業に学ぶ

田代中学校で12月18日、大阪関西万博に出展した企業による出前授業が行われました。講師は、大阪関西万博「未来の都市」パビリオンに『未来の水中工事』を出した青木あすなろ建設。生徒たちは水陸両用ブルドーザーのラジコン模型の操縦を体験し、自然災害から命や暮らしを守るためにできることについて考えを深めました。

地域住民の高齢化や生産者の減少により、やぐらの数は例年より少なくなりましたが、この時期の宿利原でしか見られない冬の風物詩をカメラに収めようと、多くの人が訪れました。



12月25日から3日間、宿利原地区で大根やぐらのライトアップが行われ、27日には宿利原農村公園周辺でイベントが開催されました。干し大根や農産物の販売のほか、餅まきやぜんざいのふるまい、舞台演奏などにぎわい、町内外から多くの観客が訪れました。

Kinko Town Pickup Photonews

錦江町 冬の風物詩 大根やぐらライトアップ



人権擁護委員が役場を訪問

「人権キャラバン」行政と意見交換

12月4日、錦江町・南大隅町の人権擁護委員の皆さん、12月4日から12月10日の人権週間にあわせて、錦江町役場を訪問されました。この活動は「人権キャラバン」と呼ばれ、毎年人権週間に合わせて実施しています。人権相談や各学校での人権教室など、人権擁護委員としての活動内容を報告され、人権啓発について行政と意見交換を深めました。



本庁でも無料の特設人権相談所を隔月で開設しています。家庭内の揉め事やいじめ、差別などでお困りの方はお気軽にご相談ください。

今年度の県畜産共進会の若雌2区で4席に入賞した柏雅之さんの「かづみ32号」を撫でる生徒たち。毛の柔らかさに驚いていました。



町内の中学3年生46名が畜産業を学ぶ 牛の見分け方や安全管理など学習

町の基幹産業である畜産業について理解を深めてもらおうと、7年前から始まった「畜産業を学ぶ会」が12月12日に開催されました。牛の見分け方や安全管理についての学習、子牛への「耳標」取り付け体験が行われ、錦江中と田代中の3年生46名が参加。錦江町産の牛・豚・鶏肉のバーベキューも行われ、農家や関係者との交流が図られました。

「未来」想像・創造コンテスト 受賞者が決定



12歳以下の部

優秀賞 鶴園 真華さん

▶「川原グランドにベンチや遊具を作りたい」

13～18歳の部

優秀賞 小林 柚葵さん

▶「交換留学を実現させたい」

優秀賞 永江 実羽琉さん

▶「旧大根占町と旧田代町に、1台ずつ大きな電光掲示板を作る。街灯を増やす」

南大隅高校の部

最優秀賞 小牧 優衣さん

▶「地元高校と連携した『町づくり人材育成プロジェクト』を立ち上げる」

優秀賞 永江 亞咲美さん

▶「花瀬プールの回数券販売とプール行き巡回バスの運行」



19～39歳の部

最優秀賞 猪鹿倉 志奏さん

▶「『仕事体験型インターンプロジェクト』を実施。新しい事業アイデアを提案してもらい、優秀なアイデアは町が支援し、小規模ビジネス化する」

優秀賞 猪鹿倉 志奏さん

▶「道路にはみ出している木を土地の所有者の許可がなくても町が伐採・整備できる条例をつくる」

40～64歳の部

最優秀賞 小林 千鶴さん

▶「移動スーパーの誘致・発足」

優秀賞 船迫 小百合さん

▶「子どもから高齢者まで日常生活を快適に過ごせる錦江町『コンパクトシティー計画』の提案」

優秀賞 溝上 真智子さん

▶「建設中の医師会立病院周辺に、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅、住宅型老人ホームなどの誘致を進める。入居者を訪ねる方々の『面会を観光に変える』仕組みを整える」

65歳以上の部

※該当者なし

●問合せ先

錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会 ☎ 0994-25-1001

『あなたが町長になったら何をしたいですか』をテーマに、第10回「未来」想像・創造コンテストの表彰式が12月22日に開催されました。寄せられた92件の想い・発想・知恵の中から、特に優秀な提案を選出し、MIRAI創生協議会城下会長から受賞者に表彰状が授与されました。また、表彰式後には協議会から町へ政策提言書の提出が行われました。提案の実現に向けて取り組んでいきます。ご応募いただいた全ての皆さん、ありがとうございました。

リトルアミューズメントホーム開催

福祉体験や餅丸めに挑戦

12月25日と26日の2日間、錦江町社会福祉協議会によるイベント「リトルアミューズメントホーム」が開催され、小中学生15名が参加しました。フードバンクの袋詰め作業などの福祉体験活動のほか、餅丸め体験、大掃除などに取り組んだ子どもたち。楽しみながら福祉や地域の活動に触れる貴重な時間を過ごしました。

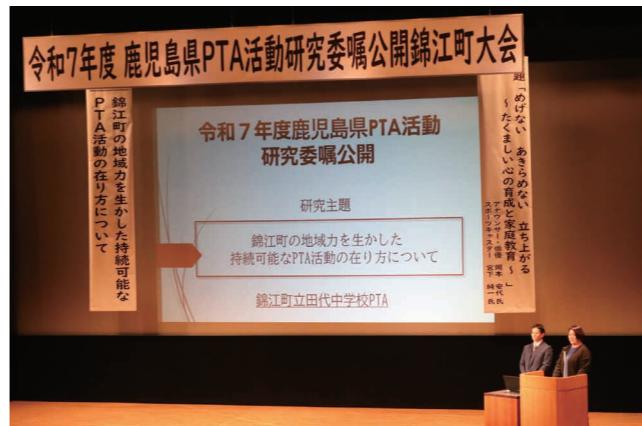


参加した田代小6年の玉泉真稀さんは「餅丸めは想像以上に熱くてびっくりした。楽しい2日間だった」と笑顔で話しました。

PTAの実践を共有

錦江町で研究委嘱公開を開催

12月6日、錦江町文化センターで「鹿児島県PTA活動研究委嘱公開錦江町大会」が開催されました。大会では、大根占小と田代中のPTAによる研究発表が行われたほか、タレントの岡本安代さんと宮下純一を迎えたトークセッションも実施されました。参加者は、PTA活動の在り方や子育てについて理解を深める有意義な時間となりました。



岡本安代さんと宮下純一さんの息ぴったりのトークに、会場は笑いに包まれ、時間があつという間に感じられました。



会長の谷口悦郎さんは「みんなで元気に活動をしている。ここを通る人にきれいな花を楽しんでいただけたら」と話しました。



花いっぱいボランティア会が花植え活動 城ヶ崎交差点付近の花壇を彩る

12月5日、花いっぱいボランティア会の皆さん、城ヶ崎交差点付近の花壇に花の苗を植えました。会員は約50名で、城ヶ崎のほか、国道269沿いの花壇でも年に2回、花植え活動を行っています。この日は寒い中、28名が参加。ビオラとツルコザクラを丁寧に植えながら、にぎやかに会話を楽しんでいました。



遊びを通してつながる時間

ミャンマー文化にふれるひととき

国際交流員のオウンマー・ミイッさんが橋ノロサロンを訪れ、ミャンマーの伝統的な遊び「シェル・ピット」を通じて交流を図りました。シェル・ピットはミャンマーの大人们的な間でポピュラーなゲームの一つ。ミイッさんは「日本のすごろくに少し似ているので、親しみやすいかも。みんなとゆったりとした時間を楽しめたら」と語りました。

次の広報きんこうの発行は

3月12日です。

※2月は広報紙の発行をいたしませんので、ご了承ください。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

広報きんこう有料広告募集

広報きんこうに掲載する有料広告を随時募集しています。毎月第2木曜に発行される広報紙は、アイデア次第でさまざまな用途に利用可能!錦江町ホームページをご覧になるか政策企画課へお問い合わせください。

1枚(縦50mm×横87mm) 月額5,000円

政策企画課 ☎ 22-3032



荒川静香選手のイナバウアー。レコード大賞は、侍田來未さんの『Butterfly』。「え~!最近だがね」と思った方、あれから20年経っているそうです。時が経つのは早いですね。20年の時間の速さを噛みしめつつ、これから日々も大切に過ごしていきましょう。

編集後記 あけましておめでとうございます。皆様はどのような新年を迎えたでしょうか。▶お正月といえば箱根駅伝。箱根の山をフレッシュグリーンの襟が驚きの速さで駆け上がる姿に、勇気と感動をもらいました。私も、時を同じくして「締切」という名の箱根並みの坂道を必死で駆け上がり、何とか無事にフィニッシュを迎えることができました。制限時間ギリギリのゴールでした(笑)今回は1月号と2月号を合併して、「新春号」をお届けします。全32ページの特大号。お楽しみいただけましたら幸いです。▶今年は牛年。馬のように軽やかに駆け抜け、箱根駅伝の選手の勢いをお手本に、町の話題を元気にお届けしてまいります。本年も広報きんこうをよろしくお願いいたします。(小鷹)

今月の表紙

ニュース

100歳おめでとうございます



馬込トミさん
(笹原自治会出身)
中浜ミユキさん
(鳥浜自治会出身)
大正14年12月19日生 大正14年12月28日生

笹原自治会出身の馬込トミさんと、鳥浜自治会出身の中浜ミユキさんが、100歳を迎えるされました。これからも素敵な笑顔を届けてください。

錦江町長寿会連合会新年寿会 今年も開催

奇公連合会新年寿会



1月8日、田代保健福祉センターで錦江町長寿会連合会の新年寿会が行われ、未来づくり専門員OGでフルート奏者の伊藤愛さんがオープニングを飾りました。「愛燐燐」のフルート演奏に合わせて口ずさむ人の姿も見られ、その後のカラオケの余興では会場が和やかな雰囲気に包まれました。

町営住宅 空き家情報

大根占地区▶ (1月1日現在)

- 町営 池田教職員団地 1戸
- 町営 池田川北団地 1戸
- 町営 宿利原教職員住宅 1戸
- 公営 港団地 2戸
- 公営 神川団地 1戸
- 公営 錦江まつさき住宅 1戸

入居申込の書類が、募集期限内に全て揃わない場合は、申込を受け付けません。入居希望に関するお問合せは本庁建設課(☎ 22-3033)までご連絡ください。

空き家バンク 登録情報

(1月1日現在)

地区	戸数	地区	戸数
城元	2戸	麓	2戸
馬場	2戸	大原	1戸
神川	5戸	川原	2戸
池田	2戸		

空き家バンク情報▶
詳細情報は町ホームページをご覧ください
問合せ▶政策企画課 ☎ 22-3032

休日の在宅当番医

月 日	病院名	電話番号
2月1日	大根占医院	22-2658
2月8日	演畠クリニック	25-2575
2月11日	肝属郡医師会立病院	22-3111
2月15日	藤崎クリニック	22-2238
2月22日	津崎医院	24-2153
2月23日	肝属郡医師会立病院	22-3111
3月1日	大根占医院	22-2658
3月8日	肝属郡医師会立病院	22-3111
3月15日	藤崎クリニック	22-2238

諸事情により変更する場合があります。ご利用の前にお問い合わせください。

最新の在宅当番医は肝属郡医師会ホームページに掲載
(公財)肝属郡医師会HP▶
QRコード

人口の動き

2026年(令和8年)1月1日現在

		前月号比
人口	5,969人	(△17)
男	2,859人	(△9)
女	3,110人	(△8)
世帯数	3,394戸	(△6)

2026年12月1日~12月31日届出

転入・出生	12人
転出・死亡	29人

住民基本台帳法改正に伴い、外国人住民も含まれます。(問住民税課 ☎ 22-3039)

くらしの情報

各種教室や相談、住宅情報、在宅当番医など
暮らしに役立つ情報満載のコーナーです!

子育て・各種教室

問合せ▶健康保険課 ☎ 22-3044

開催日	行 事 名	場 所	時 間
1月28日㈬	乳幼児健診	町総合交流センター	受付 12:45~13:15
2月3日㈭ 3月3日㈭	離乳食教室(要予約)	町総合交流センター 田代保健福祉センター	受付 9:30~
2月4日㈮	1.2.3.4歳児歯科健診	町総合交流センター	受付 13:00~13:15
2月5日㈯ 3月5日㈯	母子相談	町総合交流センター	受付 10:00~11:00
2月16日㈰	健康相談 母子相談	田代保健福祉センター	受付 9:00~10:00 受付 10:00~11:00
2月20日㈭	ベビーマッサージ (要予約)	大根占子育て支援センター	10:00~
2月20日㈮ 3月12日㈯	妊婦教室	町総合交流センター	受付 13:00~13:15
3月12日㈰	マミー運動教室 (要予約)	町総合交流センター	10:00~

相談

問合せ▶総務課 ☎ 22-0511/ 支所住民生活課 ☎ 25-2511

内 容	月 日	場 所	時 間	問合せ
無料法律相談	毎週月曜日	南大隅地区司法書士 法律相談センター	13:00~16:00 ※第3月曜は 14時まで	鹿児島県 司法書士会
行政相談・ 心配ごと相談	2月19日㈭ 3月12日㈰ 2月24日㈫	役場本庁3階 田代保健福祉センター	9:00~12:00	総務課 住民生活課

行政相談・心配ごと相談は日程が変更になる場合があります。事前にご確認ください。

2026.1.22 発行
広報きんこう版

南大隅高校だより

修学旅行

12月9日~12日に2年生が関東へ修学旅行に行きました。1日目は国立科学博物館と上野恩賜公園、東京都庁北展望台、2日目は東京ディズニーランド、3日目は両国散策・東京都内自主研修、4日目は浅草散策をしました。グループごとに準備した計画で活動し、貴重な体験や思い出をつくることができました。



FINAL 最終大会 花瀬公園まつり 駅伝大会

令和8年

3/15 日

少雨決行

中学生・一般の部 ▶ 10:00 START
小学生の部 ▶ 10:01 START

花瀬公園周回コース

20年間、皆さんに親しまれた花瀬駅伝大会。今回が「ラストラン」となります。最後の大会を皆さんで盛り上げましょう。お楽しみ抽選会、飲食ブースもあります。多くの方のご参加をお待ちしています。

エントリー部門

小学生の部 / 中学生の部 / 一般の部

チーム編成 監督1名 / 選手7名 / 補欠3名

コース

●小学生の部(全長9.6km)

区間	周回数	出発地点～終了地点
1区	1周	花瀬でんしろう館下～花瀬でんしろう館グラウンド
2区	1周	
3区	1周	
4区	1周	花瀬でんしろう館グラウンド
5区	1周	
6区	1周	
7区	1周	

参加料(1チーム)

中学生以下 3,000円

高校生以上 5,000円

●中学生・一般の部(全長13.6km)

区間	周回数	出発地点～終了地点
1区	2周	花瀬でんしろう館下～花瀬でんしろう館グラウンド
2区	1周	
3区	2周	
4区	1周	花瀬でんしろう館グラウンド
5区	2周	
6区	1周	
7区	2周	

申込締切 ▶ 令和8年2月13日(金)まで

申込先 ▶ 花瀬公園まつり駅伝大会実行委員会(教育委員会内)

〒893-2302 肝属郡錦江町城元963番地 錦江町総合交流センター

申込方法 ▶ ①申込書を教育委員会に提出

大会パンフレット・参加申込書は、錦江町教育委員会で受け取るか、錦江町ホームページからダウンロードしてください。

②インターネット申込

下記のURLからアクセスするか、二次元コードを読み取りお申込みください。

URL ▶ <https://logoform.jp/form/TxRq/1349344>

二次元コード ▶



※大会当日は、町民の皆様に交通等でご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

問 錦江町教育委員会 ☎ 0994-22-0517